

楠の木

発行
平成30年3月6日
第60号
豊明市立沓掛中学校
PTA広報部

「学校という存在」

校長 高御堂 宏

中学校の三年間は、知識を吸収し、見識を深め、視野を広げ、思考力、判断力、表現力を伸ばすために最適な時期です。

私は学校という存在について時折考えます。今は各個人がインターネットやDVDで情報が得られ、家の外に出なくても学習することができる時代です。では、なぜ家にいてもできるのに、わざわざ時間をかけて朝早くから学校に来るのでしょうか。なぜ一日の八時間近くも学校で過ごすのでしょうか。

私は三年間、共に学び合うために学校に集うのだと思います。学校は集団生活の場であり、授業や行事、部活動などを通して、学習はもちろんのこと、人間関係や人としての役割を学ぶ場であると思います。そして共に創り上げ、成就感や達成感を味わう場であると思っています。

現代は多様性の時代と言われています。みんなそれぞれ違います、みんなそれぞれ良いものをもっています。それをお互いに積極的に認めていこう

とする姿勢がとても大切です。

一人一人異なる価値観をもつ生徒たちが集い、互いに尊重し合って成り立つ場が学校です。だからこそ、楽しい、行きたい、いじめや差別がない、居場所があるということが必要です。教室は安心で心安まる場所か。人権が守られ、保障されているか。そして、多くの人たちとの関係の中で、自分がどれだけ大切な存在であるかということ



「子供と共に成長」

を、自分自身で認識できているかがとても重要であると思います。今後も、地域の皆様や保護者の皆様のご支援をいただき、いろいろな考えやいろいろな個性をもつ生徒が集い、安心して切磋琢磨できる学び舎、そんな沓掛中学校にしていきたいと思っています。今後ご理解ご協力をよろしく願います。

PTA会長 奥野 智巳

PTA副

会長、会長として二年間とても貴重な経験をさせて頂きましたが保護者の方々、校長先生はじめ諸先生方はもちろん、地域などの方々の支えで子供達が守られ、安全で元気に中学生生活が送られているんだなと改めて実感致しました。

私も他のPTA役員、委員の方々のご協力により子供たちと共に成長しています。

これからも人に感謝する気持ちを大切に、沓中生を見守っていききたいと思っています。



愛日地区中学校駅伝大会

十月二十八日

(土) 小雨が降り冷たい風が吹く悪天候の中、「愛知万博記念公園」にて、愛日地区中学校駅伝大会が開催されました。



ひとつのタスキを仲間に繋ぐと必死になって走り、雨に濡れた芝生に苦しそうに倒れこむ姿は、心を動かされるものがありました。上位入賞はできませんでしたが、完走した子供たちはとても晴れやかな表情で清々しさを感じました。この経験は子供たちを大きく成長させてくれたと確信しています。

後期PTA活動報告

9月9日	第3回 役員会・委員会	12月2日	市P連役員会
9月21日	体育大会協力	12月4日	校内俳句コンクール表彰(朝会)
9月29日	校区内清掃協力	1月13日	第5回役員会、第4回委員会
10月4~11日	PTAあいさつ運動	1月22日	書き損じはがき集約締切(22枚)
10月14日	市内小学校陸上競技大会	1月24日	尾張PTA研究発表会
10月24日	文化祭協力・文化的事業	1月25日	給食試食会(講師:給食C 角野米農士)
11月15日	愛日PTA指導者研修会	2月10日	第6回役員会、第5回委員会
11月24日	PTA合同下校指導	2月15日	学校保健委員会
11月25日	第4回役員会、俳句研修会・校内俳句コンクール審査会(講師:清水みな子先生)	3月6日	PTA新聞「楠の木」第60号発行

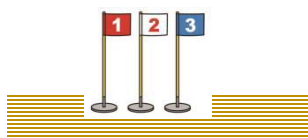


秋の澄んだ青空の下、グラウンドで精一杯汗を流す子ども達の姿に感動する一日となりました。

リレーで懸命に走る友達に、飛び上がって声援を送るクラスメイト達。大縄とびでは声を枯らして合図を送り、息を合わせて飛び、記録に一喜一憂する姿。夏からの練習の成果を、団長を中心にどのブロックも個性豊かで想いの込められた迫力のある応援合戦。

どの競技も一生懸命に、一人一人が完全燃焼し、学年を超え各ブロックが一つになり、仲間との絆を深め合う素晴らしい体育祭になりました。子ども達の成長に大きな喜びを感じました。

放生 理津子



今年の体育大会は初めての試みで部活対抗リレーがありました。各部活の部員がそれぞれの部活を着てトラックを走り抜けました。

柔道部は畳を抱え、吹奏楽部は演奏をしながらと、かなり見応えがありました。ここに部活指導の先生も参戦して頂けたらもっと大盛り上がりした事と思います。

応援合戦では各チームが糸乱れず演舞をしており、どのチームが勝利してもおかしくないくらい感動を与えてもらいました。

二宮 由佳



合唱コンクール 三 中 合唱祭

一年 五組 「青葉の歌」
二年 一組 「ヒカリ」
三年 二組 「信じる」

合唱コンクールで、最優秀賞を受賞した各学年一組が、豊明中学校で開催された三中合唱祭に出場しました。

橋本 美香

十月二十五日合唱コンクールが行われました。緊張感ただよう中、一年生から順に始まりまし

た。どの学年、どのクラスも素晴らしい指揮者、伴奏、歌声で、みなさんの堂々と歌っている姿に感動。毎日クラスでの練習を頑張ってきたんだよねーと思



聴かせてもらいました。三年生は最後の合唱コンクールとあって、休憩中のクラスごとの練習からも気合いの入りがよく、体育館のあちこちから大きな歌声が聞こえてきました。男子も女子もよく声が出ていて力強さを感じる合唱。どの学年、どのクラスも、今までのみなさんが頑張ってきた様子が分かり、ほんとうに素晴らしかったです。最後は学年ごとの合唱で、男子と女子の歌声がひとつになり、とても迫力ある歌声が体育館中に響き渡って素晴らしく感動。各クラス、みんなで心をひとつにし頑張ってきた合唱コンクール、生徒たちはとても良い思い出になったと思います。保護者の私たちも、とても楽しめた一日になりました。どうもありがとうございました。

PTA 文化的事業 ジャズコンサート ハートビートディキシランド



近藤 香奈子

文化祭初日は大阪から「ハートビートディキシランド」を招いてのジャズコンサートでした。ディキシランドというのはジャズの一つのジャンルで明るく活気のある音楽です。体育館後方からマーチングで登場し、会場は楽しい雰囲気

に包まれました。コルネット、トロンボーン、チューバ、バンジョー、ドラムス、そして司会兼ボーカルの明るい大阪のお姉さんの六人編成で、「上を向いて歩こう」や「線路は続くよどこまでも」などのお馴染みの曲がノリのいいジャズで続けました。もともとジャズは瓶やスプーンなどの生活道具で演奏したことが始まりだそうで、バンドで使っていたウオッシュボードという楽器は洗濯板にベルなどの打楽器を付けたオリジナルなものでした。六種類のちよつと珍しい打楽器の体験演奏では多くの生徒の手が挙がり、各学年二名ずつが選ばれてステージへ。残り全員は学年毎に違うリズムで手拍子を打ち、バンドと一緒に会場全員で演奏しました。音楽の授業とは一味違うジャズの楽しさと奥深さを体験できたコンサートでした。

有志発表



組んでいます。

現在三送会へ向けて背景画を描いています。テーマは「青龍」です。短い時間の中で頑張っている

目にしたことがあ

二年 今津 遼香
皆さんは美術部と聞いてパツとイメージは湧かないと思いま

校内俳句コンクール

十一月二十五日、講師に清水みな子先生をお招きして、PTA研修会と俳句審査会を行いました。ひとつひとつわかり易く解説いただき、審査をしつつ楽しく俳句に触れる事ができました。査中生のいきいきとした俳句の中から左の作品が表彰されました。

最優秀賞

校門に繁る楠の木風涼し

三年五組 千葉 結奈

優秀賞

更衣履けるズボンはもはや無い

一年四組 渡辺 桜大

帰り道雨降る中に虹二つ

一年五組 栢田 かや乃

応援団大声天へ汗は地へ

二年三組 築地 拓磨

夏空へ「完全燃焼」響く声

三年二組 有満 敬太

試合負け見上げた空に夏の雲

三年四組 菱田 悠翔

たんぼのわたげは空へ一人旅

三年五組 渡邊 菜月

給食試食会

細井 真希子

一月二十五日給食試食会が開催されました。

この日の献立は、麦ごはん、牛乳、絹ごし豆腐のミンチみそ、金平ごぼう、みかんでした。イメージよりもボリュームがあり、大人でもお腹一杯になりました。管理栄養士、角野さんからは、農家の

方による食育授業のお話や、地元でとれた農作物を使った献立のこだわりなどをお聞きすることができました。

心のこもった給食を毎日出していただいて、感謝の気持ちで一杯です。



PTA各部より

〇生活部長

伴野 香織

PTA生活部長になり、不安でしたが、他の役員や校長先生、教頭先生の助けもあり、楽しく活動することができました。

中学生が安全に通学しているか、町の様子など気にかけるようになり自身も大人として成長させていただきました。ありがとうございました。

〇文化部長

近藤 香奈子

子供が成長するにつれ保護者同士の関わりが薄れていく中、新たな出会いをいただき楽しく活動できました。

皆さんご多忙の中での参加だったと思いますが、集まれば笑顔でいっぱいでした。そのように支えて下さった先生方には大変感謝しています。皆様、ありがとうございました。

〇広報部長

加藤 美穂

この一年、楠の木新聞を作成するにあたって、学校行事をより深く理解したり、子ども達をより近くに感じたり



して、とても貴重な経験をさせて頂きました。また、教頭先生やPTA役員、部員のみんなの協力で、なんとか新聞を発行することが出来たと思います。ほんとうに、この一年間ありがとうございました。

■編集後記■

PTA新聞「楠の木」の発行にあたりご多忙の中ご協力いただきありがとうございました。新聞を読んでいた学校行事やPTA活動へ、より一層興味を持つていただけましたら幸いに存じます。

「広報部員」

加藤美穂 今津千里 二宮由佳
早川里美 放生理津子 星加亜佐美
細井真希子 山田笑子

PTA新聞「楠の木」は
沓中ホームページに
カラーで掲載されています。
ぜひご覧ください。

